

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

2面 アフガニスタンの女性はいま／女性ニュース
3面 読者のページ／主張／母の歴史／短歌／まんが
4面 フラワーアレンジメントで野の花を遊びで育つ



大阪・枚方市 城戸トシ子 (80)

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです



今夏、ギリシャ・アテネ北部で起きた山火事。荷物を持って安全な場所に移動する人々
(C) Angelos Tzortzinis/picture alliance/Getty Images

日本では40°Cを超える酷暑や観測記録を塗り替える大雨。アメリカの北西部沿岸とカナダ、カリオルニア州、地中海沿岸などの温帯地域では50°C前後の熱波。ヨーロッパ、中国では豪雨による大洪水の発生。大規模な森林火災や氷河や氷床の溶解等の増加など。激しさを増す極端な現象も、気候危機の始まりに過ぎないと指摘されています。危機的事態を克服するためできることとは何か? 和歌山大学客員教授の和田武さんにお聞きしました。

和歌山大学客員教授

私たちに求められる対策とは

気候危機

2030年までが力ギ



和歌山大学客員教授
元日本環境学会会長
自然エネルギー市民の会代表

和田 武さん

9月の新婦人しんぶんは、毎号4ページで発行します

※IPCC 世界気象機関と国連環境計画により1988年に設立。現在参加する195カ国の政府から推薦された科学者が、地球温暖化に関する科学的・技術的・社会経済的な評価を行い、報告書にまとめている。

19世紀後半に10年間に10ppmに達し、地球の平均気温は産業革命以降、約1.1°C上昇。現在の温暖化のスピードは、地球がかつて経験したことのないような急激な上昇で、それが人間の活動によるものだと断定しました。

Q. 国連のIPCCは気候危機を招いたのは、「人間活動によるもの」と断定しましたね。

和田 IPCC (※) の第6次評価報告書は、大気中のCO₂濃度は過去200万年間で最も高い

1回程度起きた強烈な熱波が、今後、世界の平均気温が1.5°C上昇する

と4・1回、2°C上昇で5・6回、4°Cならほぼ毎年の9・4回も襲うと予測しています。また

将来予測で重視すべきなのは、温

度の上昇で70~90%が失われ、2°C上昇するとほぼ絶滅すると言わ

ります。海中でも、多様な生態系の中心を担うサンゴは1.5°C上昇で70~90%が失われ、2°C上昇するとほぼ絶滅すると言わ

ります。象が本格化し、地球システムが激変して人類の生存をも脅かす「回復不能な破滅的状況」に至りかねません。その転換点が定かではないので、可能な限り気温上昇を抑制しなければなりません。

出されています。各地で頻発している大規模森林火災は、CO₂を放出するだけでなく、CO₂の吸収源を減らします。また海洋の酸性化など多くの不可逆的現象が進んでいます。

そして温暖化が進行し、ある転換点（ティーピングポイント）を超えてしまうと、これらの現象が本格化し、地球システムが激変して人類の生存をも脅かす「回復不能な破滅的状況」に至りかねません。その転換点が定かではないので、可能な限り気温上昇を抑制しなければなりません。

表1 2030年までの各国の温室効果ガス削減計画
～非常に低い日本の目標～

国・地域	温室効果ガス排出ゼロ目標年	2030年削減目標	基準年	2030年再生可能エネルギー電力導入目標
EU	2050年	▲55%	1990年	57%
ドイツ	2045年に前倒し	▲65%	1990年	65%
英国	2050年	▲68%	1990年	—
米国	2050年	▲50~52%	2005年	35年までに電力部門でのCO ₂ 排出0
日本	2050年	▲46%	2013年	410ppmに達し、地

→1990年比換算で▲40.3%

温室効果があるメタンが大量に放たれる20倍以上の温室効果がある機物の腐敗が進み、CO₂やその他の永久凍土地帯での土壌中の有機物の腐敗が進み、CO₂やその他の永久凍土地帯での土壌中の有機物の腐敗が進み、CO₂やその他の永久

Q. このままでは10年弱でCO₂など温室効果ガス排出許容の上限に達すると言われます。

和田 国際社会はパリ協定を発効させ、気温上昇を2°C未満、さらに1.5°C未満の抑制に努める目標を設定しました。

（2面へ）

